

第 5 回地域振興部会（第 2 部会）

| | | | | | | |
|--|----------------------|-----------------|------------------|----------|-----------|------------------|
| 招集年月日 | 平成 17 年 11 月 15 日（火） | | | | | |
| 招集場所 | 南部総合福祉センター2 階会議室 | | | | | |
| 開会時間 | 午前 10 時 00 分 | | | | | |
| 閉会時間 | 午前 11 時 30 分 | | | | | |
| 出席委員 及び 欠席委員 〔出席委員 8 名〕 〔欠席委員 2 名〕 | 委員 番号 | 氏 名 | 出 席 の 別 | 委員 番号 | 氏 名 | 出 席 の 別 |
| | 1 | 玉 城 寿 男 | ○ | 6 | 島 袋 朝 以 | × |
| | 2 | 上 原 政 輝 | × | 7 | 普 天 間 官 一 | ○ |
| | 3 | 金 城 廣 子 | ○ | 8 | 宮 城 敏 昭 | ○ |
| | 4 | 福 島 正 惟 | ○ | 9 | 島 袋 義 次 | ○ |
| | 5 | 照 屋 盛 康 | ○ | 10 | 平 良 正 行 | ○ |
| 会議に出席した 事務局の職・氏名 | 事務局長 | 玉 寄 長 市 | | | | |
| | 室 長 | 新 里 敏 昭 | | | | |
| | 主 査 | 山 内 昌 直 | | | | |
| | 主 事 | 知 念 正 樹 | | | | |
| | 嘱 託 | 片 野 勸、宮城宏光、崎山正美 | | | | |
| その他会議に 出席した者 | コンサルタント | 神 谷 敦 | | | | |
| | 記 者 | | | | | |
| 会議に付した事件 及び議決内容 | 別紙のとおり | | | | | |
| | | | | | | |

第4回地域振興部会（第2部会）

会 議 録

【協議事項】

1. 振興策の検討について

〈委員の意見〉

- ① 那覇市の金額を基本にして算出することが妥当なのか。南廃協では、今回熱還元施設は計画に含まれていないのになぜ、那覇市の還元施設の金額まで含めて算出するのか。また、今回の資料にある計算式（ウィリアムスの6/10乗係数規則）を適用するのか疑問である。
⇒ 那覇市・南風原町の還元施設は、ごみ処理施設建設の説明会のなかで住民から出てきた要望であり、地域振興策（まちづくり）を検討する際に早期に実現できるものとして考えられたものが、熱還元施設である。したがって、熱還元施設も地域振興策の一部であり、それも含んだ金額で算出しても良いものとする。また、ウィリアムスの法則については、根拠はない。たたき台の資料として出したものであり、今回の部会でそれも含めて議論していただきたい。
- ② ごみ処理施設建設費の5%で算出すると額が少なく、地域の理解が得られないのではないか。ウィリアムスの法則を使った算出方法を採用しても良いのでは。
- ③ 助役や財政課への説明はあるのか。また、この部会で振興費を決定するのか。最終的にはトップ（市町村長）の判断を仰ぐのか。
⇒ 助役等への説明は考えている。この部会は作業部会であり、ここで確認された事項は最終的には理事会へ挙げて承認を得る。
- ④ まちづくり費+協力金で進めたほうが地域に対しても説明しやすい。
- ⑤ 協力金の額までこの場で決定していいのか。まちづくり費+協力金で進めると、協力金の額が決まってしまう。現段階では総枠を決定するだけで、内訳については地域と調整して決定すべきでは。
⇒ まずは、総枠を決定していただきたい。内訳については、状況に応じて（候補地によって）勘案していただきたい。
- ⑥ 振興費については現段階では、確定するのではなく概算と言う形で決めても良いのでは。なぜなら今回の資料に、振興費は工事費決定後に確定する様な文言がある。振興費の額が動く可能性もあるのでは。
⇒ 振興費を提示する意義というのは、合意形成を図るためのものでもあるので、振興費に

については先に確固たる額を示すべきである。工事費が変化しても振興費の額は変わらないという事を確認したい。(金額が流動的になると逆に不信感を招く恐れがある。)

⑦ 検討資料(振興費の推計前提)のなかに、まちづくり費+協力金の考え方も入れてほしい。

⇒ この件も加え、詳細事項について検討する。

【確認事項】

振興費の額(総枠)については概ね6億円の額で調整し、根拠付け等については、次回会議で検討する。